

はるがく便り

Vol.2

今年の講演テーマは

「生徒に依拠して、生徒と一緒に走り続ける」

多くの学校で生徒会活動が形骸化し、多くの教職員は高校生の「政治的教養の陶冶」と距離を置いてきました。そんな時代に大佐賀先生は一貫して生徒の自治活動としての生徒会活動にこだわり、実践を深めてこられました。

18歳選挙権が施行される今年、大佐賀先生の講演を通じて、これからの学校の可能性＝私たちの教師としての可能性に対する課題意識を共有する学習会にしたいと考えています。教職員の皆さん、ぜひご参加ください。

北海道高等学校教職員組合 空知ブロック春学実行委員会

講師の大佐賀美弦先生に経歴と講演内容の紹介をいただきました。

経歴

1957年木古内町生まれ。その後、2歳で岩見沢市に引っ越し、大学まで過ごす。薬学部を卒業後、製薬会社に勤務するも、退職。教育学部で科目聴講生として教職単位を修得、高校教師として採用となる。札幌羊ヶ丘中学で産休代替としてウォームアップ後、網走南ヶ丘高校、共和高校、札幌篠路高校、岩見沢東高校、現在小樽潮陵高校に勤務。現在2年生担任です。全ての高校で生徒会を担当し、生徒達と一緒に学校作りをしてきました。その経験を元にお話をしたいと思います。

1 生徒会活動

それぞれの学校に課題がありました。どうして、先生方は生徒の活動を妨げようとするのか。その力との闘いでした。行事の取り組み、生徒会規約改正、生徒心得の変更など、たくさんのお話をしてくれました。

2 学級と学級通信

今年も昨年担任したクラスの学級通信が冊子になりました。通信を通しての学級作り、保護者との繋がりを紹介したいと思います。

3 高校生の広場

13年間続きました。教師人生の中での財産になっています。自分の所属している高校以外の高校生とキャンプ、学校作りの話し合いなどを行いました。奇跡のような取り組みです。

春学の概要

- ◎ 日 時 6月4日（土） 13：00～
- ◎ 場 所 新ないえ温泉 ホテル北乃湯 研修室
- ◎ 内 容 講演、共済学習会、懇親会 ※宿泊もできます

教採試験対策学習会 今年もやります（6月5日）

